



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所

上場取引所 東

コード番号 6125 URL <https://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石井 常路

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,660	15.7	791	54.1	761	48.2	588	49.7
2020年3月期第3四半期	24,511	1.5	1,724	20.4	1,471	18.5	1,170	21.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 692百万円 (43.6%) 2020年3月期第3四半期 1,227百万円 (18.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	147.14	
2020年3月期第3四半期	292.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	32,898	13,480	41.0
2020年3月期	34,164	13,110	38.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 13,480百万円 2020年3月期 13,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		50.00		50.00	100.00
2021年3月期		30.00			
2021年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	12.5	1,500	42.1	1,330	45.0	900	43.1	224.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	4,717,895 株	2020年3月期	4,717,895 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	716,242 株	2020年3月期	715,085 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	4,002,395 株	2020年3月期3Q	4,003,643 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	
受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず、欧州でのロックダウンの実施など各国で経済活動の制限が行われたことから厳しい状況が続きました。

わが国経済におきましては、政府政策による一時的な個人消費の持ち直しの動きがあったものの、企業の設備投資は中止や先送りの姿勢が継続しており、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、中期経営計画「SHINKA 2022」の2年目として、安定した収益を確保できる企業を目指し、各国での営業活動が制限される中、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は20,660百万円(前年同期比15.7%減)、営業利益は791百万円(前年同期比54.1%減)、経常利益は761百万円(前年同期比48.2%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は588百万円(前年同期比49.7%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①工作機械

国内市場におきましては、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症による経済停滞の影響で、設備投資には慎重な姿勢が継続しており、受注は前年同期より減少する結果となりました。売上につきましても、営業活動の制限による受注の低迷により、前年同期を下回りました。

海外市場におきましては、米国では医療機器業界とテレワークの普及により好調な金型業界から門型平面研削盤や汎用平面研削盤などの受注があったものの前年同期には届きませんでした。売上につきましても、当期前半の受注の落ち込みによる影響で前年同期を下回りました。欧州では感染症の再拡大による経済活動の制限やドイツでの自動車業界の低迷などの影響により、売上、受注共に前年同期より減少しております。中国ではテレワークの普及によりモバイル端末の需要が増加した影響で、EMS業界向けの小型研削盤の販売が好調に推移いたしました。受注につきましても、小型研削盤の需要継続と電気自動車関連で門型平面研削盤などの受注もあり、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は14,427百万円(前年同期比18.8%減)、セグメント損失(営業損失)は167百万円(前年同期はセグメント利益864百万円)となりました。

②半導体関連装置

半導体市場におきましては、5Gスマートフォンの需要増加に加え、新型コロナウイルスの感染対策として世界各国で普及したテレワークやオンライン授業などライフスタイルの変化により、パソコンやデータセンター関連向けの半導体デバイスの需要が高まっております。

このような状況の中で当社グループは、ポリッシュ装置の販売増加に向けて、プロセス開発などの諸施策を前期より継続しております。その結果、国内、東アジアおよび米国において、ウェーハ生産用のファイナルポリッシャーやラップ盤を安定的に販売へつなげることができました。受注につきましても、半導体業界の設備投資意欲が継続しており、国内および中国向けのウェーハ生産用ファイナルポリッシャーの受注が寄与し、前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、売上高は6,232百万円(前年同期比7.7%減)、セグメント利益(営業利益)は1,658百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,266百万円減少し、32,898百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,465百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,828百万円、たな卸資産が739百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して1,635百万円減少し、19,418百万円となりました。主な要因は、短期借入金が1,583百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して369百万円増加し、13,480百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加588百万円、配当金の支払いによる減少320百万円により268百万円増加したこと及び為替換算調整勘定が89百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.4%から41.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、2020年5月15日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,400	4,865
受取手形及び売掛金	8,576	6,747
商品及び製品	2,478	2,386
仕掛品	5,374	5,004
原材料及び貯蔵品	2,634	2,356
その他	400	395
貸倒引当金	△71	△75
流動資産合計	22,793	21,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,679	3,598
機械装置及び運搬具(純額)	2,640	2,443
その他(純額)	3,668	3,746
有形固定資産合計	9,989	9,787
無形固定資産		
	95	107
投資その他の資産		
投資有価証券	67	82
退職給付に係る資産	382	425
その他	855	832
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	1,286	1,322
固定資産合計	11,371	11,217
資産合計	34,164	32,898
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,672	3,806
短期借入金	8,113	6,529
1年内返済予定の長期借入金	1,095	1,810
未払法人税等	175	36
賞与引当金	374	131
製品保証引当金	51	47
その他	2,817	3,652
流動負債合計	16,300	16,014
固定負債		
長期借入金	2,675	1,372
退職給付に係る負債	897	950
資産除去債務	123	118
その他	1,056	961
固定負債合計	4,753	3,403
負債合計	21,053	19,418

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
利益剰余金	12,166	12,434
自己株式	△3,078	△3,080
株主資本合計	13,968	14,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15	△0
為替換算調整勘定	△812	△723
退職給付に係る調整累計額	△29	△30
その他の包括利益累計額合計	△857	△754
純資産合計	13,110	13,480
負債純資産合計	34,164	32,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	24,511	20,660
売上原価	16,994	15,097
売上総利益	7,516	5,562
販売費及び一般管理費	5,791	4,770
営業利益	1,724	791
営業外収益		
受取利息	12	2
受取配当金	2	1
助成金収入	9	138
物品売却益	19	16
その他	22	26
営業外収益合計	65	185
営業外費用		
支払利息	135	111
為替差損	125	60
支払手数料	8	7
その他	49	36
営業外費用合計	319	216
経常利益	1,471	761
税金等調整前四半期純利益	1,471	761
法人税等	300	173
四半期純利益	1,170	588
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,170	588

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,170	588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	14
為替換算調整勘定	68	89
退職給付に係る調整額	△8	△0
その他の包括利益合計	56	103
四半期包括利益	1,227	692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,227	692

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,757	6,753	24,511	—	24,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,757	6,753	24,511	—	24,511
セグメント利益	864	1,587	2,451	△726	1,724

(注) 1. セグメント利益の調整額△726百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,427	6,232	20,660	—	20,660
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,427	6,232	20,660	—	20,660
セグメント利益又は損失 (△)	△167	1,658	1,490	△698	791

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△698百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	13,998	89.2	8,425	80.4
半導体関連装置	10,220	368.2	9,728	125.7
合計	24,218	131.1	18,154	99.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	14,427	81.2
半導体関連装置	6,232	92.3
合計	20,660	84.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。